

役員所感

専務理事 中川雄一郎

<基本方針>

第45回衆議院議員総選挙では総理大臣経験者や派閥を束ねる大物議員が次々と落選するなど壊滅的大敗をし、自民党が結党史上初めて衆議院で第一党を失い民主党が政権政党となりました。しかし自民党と民主党の二大政党による本質的な対立軸を欠いたポジショニングは現在の国民意識の反映であるようにも思えます。国に任せると言う前提ではなく国に任せると言うかであり、中央集権的な考えのパターナリズムに安住するべきではなく国民の共同体精神を醸成させ、地域から国を創り直す事が重要であると考えております。

共同体とは我々の地域であり、利他の精神や郷土愛と言ったローカリズムこそ地域共同体精神であると考えております。この気高き精神を地域で育み伝播する為に、組織の進化・J Cの真価・地域との深化・己の心火を根幹に妥協する事なく本質を追究し自由な創造力と高貴なる義務を背景に運動に邁進して参ります。同時、専務理事と言う職務から公益法人格の取得を視野に持続可能な事業効果の模索、受託責任の明確化やディスクロージャーの充実と言った特徴を活かし、公平なバランスと公益なセンスに磨きをかけJ Cの運動力を昇華させて参ります。更には、透明性の高い組織運営に努めると共に、新たな価値を追究した例会運営や様々なニーズの変化に対応出来る情報交換の推進と組織連携が高められる会議運営を確立致します。また、新公益会計基準への移行に備えるだけでなく社会的規範を含めた法令等の遵守に徹底し、公益法人の社会的使命を再認識し個の倫理観と公の使命感を持ってより公益なJ C運動の発信に努める事も重要である考え、己を律しメンバーをサポートしながら論理的思考に基づき策定したグランドデザインと未来を見据えたアクションプラン「フューチャーズシックス」を機軸に地域の環を創造します。

恒久的な共同体精神の創発と自己変革を通じて協働と協創を生み出し、自信と誇りを胸に、地域の負託と信頼に応えるJ Cとして醸成されたローカリズムと義士の英知を結集し、選択された組織として尊い想いをかたちへ。見据えるその彼方には、美しき義の都・真に豊かなまち上越がある事を信じて。